

県南保健所感染症情報

令和8年 第 41 週

令和8年10月5日 ～ 令和8年10月11日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◆◆定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◆◆ （定点当たり患者数）

定 点	疾 病 名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 41 週						警報レベル		注 意 報 レ ベル
		39 週		40 週		41 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	9.00		8.00		8.25		12.81	注意報	13.26	注意報	8.25		30	10	10
	COVID-19	0.25		1.75		0.50		1.44		0.52		0.50				
	急性呼吸器感染症 (ARI)	33.75		32.50		33.50		69.78		69.10		33.50				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	1.33		2.67		2.67		1.42		1.06		2.67				
	咽頭結膜熱	0.00		0.00		0.33		0.18		0.26		0.33		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.67		10.67	警報	8.67	警報	1.42		2.10		8.67	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.33		0.00		0.33		3.22		2.13		0.33		20	12	
	水痘	0.33		2.00	警報	0.00		0.16		0.26		0.00		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.33		0.92		0.23		0.33		5	2	
	伝染性紅斑（リンゴ病）	0.33		0.00		0.00		0.03		0.03		0.00		2	1	
	突発性発しん	0.00		0.67		0.33		0.27		0.26		0.33				
	ヘルパンギーナ	0.33		1.67		0.67		1.30		0.84		0.67		6	2	
	流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	0.00		0.00		0.00		0.04		0.03		0.00		6	2	3
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00		1	0.1	
	流行性角結膜炎	0.00		5.00		3.00		0.63		1.50		3.00		8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.06		0.08		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		1.00		0.00		0.66		0.17		0.00				
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスであるものに限る）	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00				

◆◆全数把握対象感染症 発生状況◆◆ ※報告日掲載（県作成速報：診断日掲載）

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	【第41週】 レジオネラ症 患者1名（50代・女性）
五類感染症	報告なし

◆◆トピックス・季節情報◆◆

☆県内で日本脳炎患者の発生がありました

長崎市において、日本脳炎の発生報告がありました。
日本脳炎は、ヒトからヒトへの感染はなく、ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖した後、そのブタを刺したコガタアカイエカなどがヒトを刺すことによって感染します。蚊の活動時期は秋ごろまで続きますので、蚊に刺されないよう対策することが重要です。また、日本脳炎ワクチンは罹患リスクを75～95%減らすことができると報告されています。定期予防接種は、市町からの案内に沿って接種を受けて下さい。任意接種することも可能ですので、かかりつけ医にご相談ください。

☆レジオネラ症患者の発生がありました

県南保健所管内で、レジオネラ症の発生がありました。
レジオネラ属菌は、自然界（河川、湖水、温泉や土壌など）に生息している細菌で、感染するとレジオネラ症を引き起こします。主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入などによって、細菌が感染して発症します。ヒトからヒトへ感染することはありません。
感染予防対策として、超音波振動などの加湿器を使用するときには、毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。レジオネラ属菌は60℃では5分間で殺菌されるので、水を加熱して蒸気を生じさせるタイプの加湿器は感染源となる可能性は低いとされています。また、循環式浴槽（追い炊き機能付き風呂・24時間風呂など）を備え付けている場合は、レジオネラ症を予防するため、浴槽内に汚れやバイオフィルム（生物膜。細菌で形成される「ぬめり」。）が生じないように定期的に洗浄等を行うなど、取扱説明書に従って維持管理しましょう。汚れや「ぬめり」を落としてレジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすことが大切です。